

令和3年度 日本赤十字社診療放射線技師会 東北ブロック研修会活動報告

八戸赤十字病院 東北ブロック理事 松倉 裕次

令和3年度東北ブロック研修会は、令和4年2月26日にZOOMを用いてWeb開催致しました。担当である八戸では、病院内の「日赤ホール」を会場として開催としましたので、その様子を写真も交えて報告致します。

○会長講演では、正者 智昭 会長に、日本赤十字社診療放射線技師会の取り組みについて講演していただきました。



共同購入や人材育成についての内容は興味深く、今後の業務においても検討すべき課題と感じました。

○一般演題では、各施設から発表があり全部で4題の演題を行っていただきました。





特に CT に関する演題が多く、また原子力災害拠点病院についての報告もあり、大変参考になりました。

○共同テーマ発表では、新型コロナウイルス感染症への対応として、東北ブロックの各施設より発表していただきました。



PPE の着用の関しては各施設とも同様で、また、コロナ患者の胸部 Xp と CT を撮影するところがほとんどでした。質問ではコロナ患者の MRI 検査は行っているかなどが挙げられました。

○特別講演では、千代田テクノル株式会社の工藤 亮裕 様より、眼の水晶体の等価線量の実態と被ばく低減について講演していただきました。



水晶体の上限が変更になったことから、現状を報告していただきました。
結果から消化器 Dr が線量が多いことを指摘され、ついで循環器 Dr や整形外科 Dr が挙げられていました。

今回は東北ブロック初の ZOOM 使用による Web 開催となりましたが、大きなトラブルもなく皆様のご協力により成功裏に終了することができました。

参加していただいたすべての方々および本技師会会長、東北ブロック各施設の所属長並びに技師、常任理事の皆様のご尽力に深く感謝し、報告とさせていただきます。

プログラムについては以下をご覧ください。

(開催前に作成したプログラムであり、実際開催した時間とは多少異なります。)

令和3年度 日本赤十字社診療放射線技師会 東北ブロック研修会

開催日 : 令和4年2月26日(土) 13:00~15:50

開催場所: 八戸赤十字病院 (日赤ホール Web 開催)

参加費 : 無料

プログラム

総合司会 八戸赤十字病院 大澤 哲平

• 12:30~ ZOOM 入室開始および説明

• 13:00~13:05 開会の辞 東北ブロック理事 八戸赤十字病院 松倉 裕次

• 13:05~13:35 会長講演 座長 八戸赤十字病院 松倉 裕次

【日本赤十字社診療放射線技師会の取り組み】

日本赤十字社診療放射線技師会会長
正者 智昭 様

• 13:40~14:20 一般演題 座長 八戸赤十字病院 二部 敬太

「当院 CT 装置における表示値と測定値の関係」

福島赤十字病院 玉根 勇樹

「iCAN における冠動脈 CT 画質均一化の試み」

盛岡赤十字病院 佐々木 駿

「Deep learning 技術(Aice)を搭載した 80 列 CT 装置の基礎的評価」

八戸赤十字病院 小村 俊平

「原子力災害拠点病院における教育方法の報告」

石巻赤十字病院 山内 雄亮

• 14:25~15:15 共同テーマ発表 座長 八戸赤十字病院 古村 茂樹

【新型コロナウイルス感染症への対応】

八戸赤十字病院

盛岡赤十字病院

秋田赤十字病院

仙台赤十字病院

～東北ブロック各施設より～

石巻赤十字病院

福島赤十字病院

• 15:20~15:50 特別講演 座長 八戸赤十字病院 東山 正樹

【眼の水晶体の等価線量の実態と
被ばく低減について】

(株)千代田テクノル 青森事務所

工藤 亮裕 様

• 15:50~ 閉会の辞 八戸赤十字病院 大澤 哲平